

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 藤本 範行
副会長 松尾 正博
幹事 中武 泰一郎
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第1934回 平成28年6月30日プログラム

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| 我らの生業 | 9. 三役退任あいさつ |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 12. |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 野中 玄雄

中部分区ガバナー補佐 橋口 正樹
RI テーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第2730 地区テーマ 『奉仕は力！活かそう例会』
高鍋ロータリークラブテーマ
『創立40周年へのプレゼントになろう』
6月の月間テーマ
ロータリー親睦月間

本日の例会案内

(年度最終例会)

- *夜間例会 18:30~ 場所=ホテル泉屋
- *親睦会 (慰労会及び新年度親睦会)
19:00~ 場所=花いちもんめ

次週例会案内; 7月7日 (1935回)

- *三役就任あいさつ
- *前年度会長幹事のお礼
- *前年度100%出席表彰
- *クラブ協議会
- *雑誌紹介
- *例会終了後理事会

第1933回 例会内容

■会長の時間

会長 藤本範行君

皆さんこんにちは。

今日は6月23日。今年度最後の来週の例会は、夜間例会になりましたので、会長の時間も実質的には今日が最後だと思います。今日は、嬉しいことに久しぶりに三原君が出席してくれました。(拍手)

長いこと欠席しておられる図師君についてですが、実は食道に腫瘍が出来ているのが見つかり、熊本の病院でこっそり手術をしておられました。良性だったようで心配いらなそうです。クラブからお見舞いを差し上げておきました。来週の例会には元気な顔を見せてくださるはずですよ。

先週、フェイスブックを見ていましたらある方が「シンプルなのに心に刺さる」と共感して、次のような『正範語録』をシェアしていました。それを読んで、私は大変感銘を受けましたので、ここに紹介します。



【正範語録】

実力の差は努力の差 実績の差は責任感の差
人格の差は苦勞の差 判断力の差は情報の差

真剣だと知恵が出る 中途半端だと愚痴がでる
いい加減だと言い訳ばかり

本気でするから大抵のことは出来る
本気でするから何でも面白い
本気でしているから誰かが助けてくれる

私たちは、あちこちでいろんな人生訓や人生語録なるものを見かけたり、聞いたりして人生のヒントを得ますが、この作者不明の『正範語録』には、それらとは違う含蓄があります。特に「実績の差は責任感の差」「人格の差は苦勞の差」「真剣だと知恵が出る」そして最後の「本気でするからなんでも面白い」が私の心に響きます。どの行の言葉もシンプルで普通によく使いますが、この語録の言葉の重さは一味違います。だから2012年以来、現在も多くの人が爆発的に話題にし、多くのシェアが繰り返され、Twitter・ブログに載せる人が絶えません。ただロータリアンの私には、ある言葉が無くて物足りなさを感じています。その言葉とは何かお分かりですよ。そう「奉仕」に関する言葉が一つ欲しかったです。ですから皆

さんにお渡しした用紙の『正範語録』には、最後の行に「ロータリアンは、本気で奉仕を！」と付け加えさせていただきました。言葉はどこで誰がどう使うかで、生きたり死んだりするものです。その例をもう一つ紹介します。

タレントの武田鉄矢さんが、朝のラジオで語っていたことです。刑務所などの矯正施設の収容者に宗教や人生の話をして、実直に生きることを手助けする人のことを教誨師（きょうかいし）といいます。全国には1800人のボランティアの方がおられるそうです。その中でも死刑囚の教誨を引き受けていた篠田さんという浄土真宗の僧侶の体験談です。

印象深いエピソードについてお話します。

Sという死刑囚の執行の日。その男がいよいよ絞首台に向かおうとした時、全身が震えて歩けなくなり、二人の刑務官に両脇を抱えられていました。Sは篠田さんのほうを振り返り、叫んだそうです。「篠田先生！私に引導を渡してくれー」何か背中を押す言葉がないと前に進めなかったのです。篠田さんはSに歩み寄り、彼の両肩をしっかりと掴んでこういったそうです。「あんた、死ぬるんじゃないのだぞ、これからは生まれ変わるんだぞ～！喝～！」すると、Sの顔からは恐怖の色が消えて、篠田さんに確認するようにこう言ったそうです。「先生、私は死ぬのじゃなくて、生まれ変わるのですよね」すると篠田さんは「そうだった！あんたは先に行きなさい。ワシもすぐあとから行くから」と。篠田さんの言葉を聞いて、Sは少しだけ微笑み、その数秒後にあの世に旅立ったそうです。死の瀬戸際の「生まれ変わることが出来る」という言葉は、Sにとって大きな希望の言葉となり、彼に強い勇気を与えました。

ドラマの中でも役者のセリフが胸にしみて、なるほどと「腑に落ちる」ことが多々あります。黒柳徹子さんの半生を描いたNHK土曜ドラマ『トットてれび』が始まりました。反響が凄いです。何がすごいかって、主演の満島ひかりさんの演技力、徹子さんの言葉、そのしゃべり方、表情やしぐさまでそっくりで、鳥肌が立つほどでした。その場その時に相応しい言葉の持つ魅力と魔力は、私たちの心に響きます。今週の土曜日の夜7時からのドラマを楽しみに見てください。

これからの人生でもドラマでも、以上のような粹な言葉に出会い、それを道しるべにしていきたいものです。これで最後の会長の時間を終わります。これまでの皆さんのご清聴に感謝いたします。有難うございました。

■幹事報告<文書案内>

*ガバナー公式訪問クラブ

フォーラム発表者の原稿
と写真の提出依頼

*例会会場変更の件

西都RC 「あかのや」
佐土原RC 「ワールドコ
ンベンションセンター
サミット」

幹事 中武泰一郎君



■BOX披露

親睦活動委員会 岩切洋君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

藤本範行君 本日は最後のクラブ協議会です。各委員長さん宜しくお願いします。

坂田師通君 1週間早いですが藤本会長、中武幹事役員の皆様ありがとうございました。

岩切洋君 実質 今日例会で

今年度親睦委員会の役目を終わらせて頂きます。幾分ホットしております。今年度クラブの親睦にご協力頂きありがとうございました。



■出席報告

出席副委員長 向山健一君

出席状況 (6/23)

会 員 数	44名
出席会員数	33名
ホーム出席率	75.00%
前々回修正出席率	93.18%



クラブ協議会 (年間活動報告)

○会員増強選考分類委員会

委員長 石田喜克君

副委員長 黒木敏之君

委員 池部文仁君

活動方針

会員増強、会員維持（退会防止）、女性会員の発掘という三つの重点活動を中心にクラブの活性化を積極的に推進します。

活動報告

1. 4月24日の40周年までに会員数50名を目標にして、毎月の理事会で候補者のリストアップ、全会員からの紹介等の依頼、等のアクションは、実施したものの、退会者の歯止めがきかず、現状維持するのがせいぜいでした。
2. 新入会員へのオリエンテーションは、確実にクラブ研修委員会が実施して頂き好評であった。
3. 退会防止の取り組みに関しては、マニュアルを作成して対応強化を推進させなくてはいけない。
4. 女性会員の発掘で情報はあったが？なかなか入会までには、至っていないのが現状である。
5. 新入会員増強をストップさせてはならない！退会を未然に防御する！スローガンとして、全員の行動あるのみ！友達を増やそう運動！（継続展開）



○国際奉仕委員会

委員長 武末喜久治君
委員 岩村 文夫君

活動計画であげました、外国人との親善交流の推進と英語学習の推進ができなかった事が一番残念でした。

友好クラブの交流推進は、上杉米沢ロータリークラブ副委員長の山口君に担当してもらい、クラブとしては米沢での地区大会への出席をいたしました。

委員会としてまとまった活動ができなかった事をお詫びいたします。1年間ありがとうございました。



ソングリーダー 橋口清和君



会計 森本直樹君



クラブ研修委員会
委員長 福岡直樹君



副SAA 青木善明君



ピアノ演奏 森幸子さん



親睦活動委員長
岩切洋君



奉仕プロジェクト委員会
部門長 桑野倫夫君

2016-2017 年度R I テーマ



職業奉仕委員会
委員長 河野洋一君



社会奉仕委員会
副委員長 長野孝吉君



新世代委員会
委員長 曾我部幸夫君



ロータリー財団米山委員会
副委員長 井上博功君

四つのテスト
言行はこれに照らしてから
1、真実かどうか
2、みんなに公平か
3、好意と友情を深めるか
4、みんなのためになるかどうか